

科目名/提供大学名	ライフスタイルと健康
科目名(英文)	Health science and lifestyle
対象学年	原則として、全学年
開講時期	前期
単位数	各大学の扱いに委ねる。
科目区分	原則として、選択。
授業形態・開講形態	講義
担当教員名	前川 剛輝
オフィスアワー	福井工業大学・5号館8階・5-86研究室、月曜日の8:50-10:20 (講義の前後にも質問等を受け付けます)
教員メールアドレス	maegawa@fukui-ut.ac.jp
概要	ライフスタイルが生活の質(Quality of life、QOL)や疾病の発症・予防などに影響をもたらすことについて理解を深めるとともに、教育や医療等の予防体系に取り込むための様々な取組みも講義する。
学習・教育目標との関連	各大学の目標との関連は、科目の提供大学側では書けないと思われます。
授業目標・目的	個々が持つ人生の目標や理想的な生き方を支援する為に、疾病等を予防する手だてを積極的かつ科学的に考え、生活の質(Quality of life、QOL)を高めるための思考を身に付ける。
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	自他のライフスタイルの変容が健康寿命の延伸に繋がることを理解し、健康を実現させる為の基礎的な素養を身に付ける。
授業計画・授業内容	第1回:オリエンテーション、21世紀の医療とは 第2回:ライフスタイル研究の今日的意義 第3回:ライフスタイル(健康習慣)の評価 第4回:ライフスタイル(健康習慣)特性の内的構造 第5回:ライフスタイルと疾患 第6回:発症リスクファクターによる身体的健康度の評価 第7回:ライフスタイルによる将来の健康破綻の予知 第8回:喫煙と健康 第9回:喫煙による染色体変異の誘発 第10回:飲酒と健康 第11回:遺伝素因によるアルコール誘発染色体変異の変化 第12回:子ども(小中学生)の健康度とライフスタイル 第13回:ライフスタイルとストレス 第14回:ストレス評価、主観的ストレス感 第15回:ストレス反応評価、まとめ
授業方法	最新の研究成果や地域(福井)特有の課題も紹介しながら授業を行う
キーワード	ライフスタイル、健康、身体活動、メンタルヘルス
教科書	なし
参考書	「現代医学と社会 - 医学概論」講義 森本兼義(監修) 朝倉書店
評価方法・評価基準	各授業ごとに行う小テスト(レポートを含む)28%、第15回目の授業にまとめとして行う授業内試験72%で評価する。
関連科目	なし
履修の要件	なし
必要な事前・事後学習	事前に配布する資料に目を通し、予備知識をもって授業を受けてください。また、授業毎に行う小テストの内容を必ず復習し、必要に応じて講義ノートから授業内容の振り返りを行って下さい。
その他・注意事項	健康科学に興味がある学生の受講を希望します。